

令和 6 年度モニタリングシート

【施設名等】

施 設 名	おおず赤煉瓦館	位 置	大洲市大洲 60 番地
指定管理者名	一般社団法人 キタ・マネジメント	所管課	観光まちづくり課 Tel 0893-24-1717

【施設の概要】

設置年月日	平成 3 年 3 月 30 日	構 造	本館 鉄骨造外壁煉瓦仕上げ2階建 別館 煉瓦造 2 階建 倉庫 煉瓦造 2 階建
設置目的	市民及び観光客の憩いの場、情報及び文化の交流の場を提供し、地域文化の高揚及び地域産業の振興に資する。		
施設機能	本館 1 階 物販コーナー・トイレ・受付等 2 階 休憩コーナー・トイレ等 別館 煉瓦資料室、展示室等 倉庫 1 階トイレ、2 階倉庫		
利用料金等	施設使用料(本館 2 階:1時間につき 520 円 他)、物販等販売品売上		
開館・閉館	午前 9 時～午後 5 時 ※12 月 29～31 日の 3 日間は休館日		
指定管理 業務内容	(1) 施設及び設備等の管理運営に関すること (2) 施設、設備及び備品の修繕等に関すること (3) 施設の利用許可及び利用料金等の収受に関すること (4) 施設の利用促進に関すること (5) その他管理運営上で必要な業務		
施設管理体制	常時 2 名体制		

【施設利用者数】

(単位:人)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
R6 年度	3,521	4,079	1,957	2,196	3,233	2,606
R5 年度	3,630	4,698	2,283	2,095	4,173	2,817
比 較	▲109	▲619	▲326	101	▲940	▲211

10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
2,996 人	3,333	1,873	1,887	1,921	2,815	32,417
2,784 人	3,879	2,035	2,223	2,121	2,696	35,434
212 人	▲546	▲162	▲336	▲200	119	▲3,017

【指定管理者としての収入・支出(決算)】

(単位:円)

収入内訳	収入金額	支出内訳	支出金額
指定管理受託料収入	8,500,004	仕入高	6,915,743
使用料収入	318,931	人件費	7,945,133
物販売上収入	7,841,510	水道光熱費	1,446,301
その他収入	726,696	通信費	222,276
		消耗品費	367,710
		修繕費	514,913
		その他経費	1,392,627
		減価償却費	32,747
合 計	17,387,141	合 計	18,837,450

【サービス向上に向けた取り組み】

R5 年度	・定期的なミーティングでサービスの質の維持と向上 ・認定案内人によるスタッフ研修 ・プライスカードの多言語化 ・施設の美化推進 ・施設の修繕 ・新商品の入れ替え
R6 年度	・定期的なミーティングでサービスの質の維持と向上 ・認定案内人によるスタッフ研修 ・接客マナー研修によるおもてなし力の向上 ・施設の美化及び修繕 ・サステナブル研修 ・レイアウト及び新商品の入れ替え ・免税店登録を行う

【利用者から要望と対応状況】

利用者からの苦情・要望等	利用者からの苦情・要望への対応
① 貸館利用ができるのを知らなかった。	① 貸館を出来る旨の POP を作成。施設内及び Instagram や Visit Ozu などに掲示を行った。
② 正面案内の POP が多言語化されていないので、インバウンドの方が入って良いかどうか分かりづらい。	② 正面案内の POP を多言語化にて、インバウンドの方にも分かりやすいように意識して作成した。
③ おおず赤煉瓦館の歴史背景が分かる物が無い。	③ 大洲市役所の協力もあり、おおず赤煉瓦館の歴史背景が書かれたものを正面入口付近に設置。
④ 発送ってできますか。	④ 大洲まちの駅あさもやに持ち込んでもらったら発送対応できる旨を伝えた。
⑤ 太陽光に当たって、一部商品のパッケージが色褪せしている。	⑤ 赤外線をカットするために、窓ガラスにフィルムの貼り付けを行った。

【指定管理者の自己検証】

【自主事業】

今年度は新しい自主事業として、『おおず赤煉瓦館～音楽祭～』を企画・実施した。

別館1階は大洲や愛媛に縁のあるアーティストのコンサート会場とし、本館と別館2階、中庭や外庭には、地元事業者を中心にしたマルシェを同時刻で開催した。

大洲は音楽に関するイベントが少なく、初めての試みでまだまだ粗削りではあるが、ユニークベニユーの創出、また別館の活用の観点からも良いイベントを実施できたと考えている。

次年度もブラッシュアップを行い、実施検討していきたい。

また、令和 5 年度に行った『HORROR NIGHT OZU』も本年度夏に開催し、賑わいの創出に繋げることができた。

【貸館利用】

おおず赤煉瓦館が貸館利用をしていることを知らない方が多いため、周知広報のために POP を作成し、本館の掲示をはじめ、SNS や Visit Ozu でも積極的に発信した。

掲示を行ってから、電話や店頭で貸館についての問い合わせが例年より増加した。

今年度も幅広く周知し、おおず赤煉瓦館の賑わい創出に寄与するように努めていく。

【免税店登録】

昨今の一般社団法人キタ・マネジメントの取り組みにより、インバウンドの来訪者も多くなってきた。そのため、インバウンドの購買率と売上を上げる施策の一環として『消費税免税店』の登録を行った。2025 年 2 月に登録完了した為、導入後間もないが、インバウンドは増加傾向であり、個人旅行者やツアー旅行者に発信していくよう努めていく。

【商品のレイアウト】

商品は伊予・大洲のセレクトショップをコンセプトに、随時新商品の入替を行っている。外国人観光客にも分かりやすいように、店内のレイアウトなどを適宜変更しながら、英語表記のプライスカードの作成を行っている。

お客様の購買に繋がりがやすい、訴求のある POP の作成などを鋭意作成していく。

【施設所管課の検証・評価】

住民や観光客が過ごしやすい空間づくりのために仕様書に基づき、適切に管理・運営が行われている。貸館として教室、作品展、地元の区内の会議の利用など住民の方も気軽に赤煉瓦館を利用しやすいようになっている。今後も住民や観光客のことを考えながら適切に管理・運営をし、快適な空間づくりを行い、憩いの場・交流の場となるようにしていただきたい。

また、店内販売におけるレイアウト変更や新商品への入れ替えによる販売力の強化、接客マナー研修実施による観光客受入れ体制整備のほか、観光客を取り込むための新たなプラン造成などを行い、利用者の増加を図っていただきたい。